

青森県と青森地方気象台が共同して発表する

土砂災害警戒情報

平成19年6月1日（金）から、青森県と青森地方気象台は、土砂災害警戒情報を共同して発表します。

土砂災害警戒情報は、大雨により土砂災害の危険度が高まった市町村を特定し、青森県と気象台が共同で発表する情報です。発表した土砂災害警戒情報は、青森県から市町村や消防本部等に通知されると共に、気象台から報道機関を通じて一般住民に周知されます。

土砂災害警戒情報とは

大雨警報発表中に土砂災害（土石流や集中的に発生する急傾斜地の崩壊）の危険度が高まった市町村ごとに発表する情報です。市町村が行う防災活動や避難勧告等の災害応急対策を適時適切に行えるように支援し、住民の自主避難の判断などに利用できる事を目的としています。

土砂災害警戒情報の利用上の注意点

土砂災害警戒情報の発表対象とする土砂災害は、表層崩壊等による土砂災害のうち大雨による土石流や集中的に発生する急傾斜地の崩壊としています。しかし、土砂災害はそれぞれの斜面における植生・地質・風化程度、地下水の状況等に大きく影響されるため、個別の災害発生箇所・時間・規模等を詳細に特定することは出来ません。また、技術的に予測が困難な斜面の深層崩壊、山体の崩壊、地すべり、融雪による崩壊等は土砂災害警戒情報の対象とはしていません。

土砂災害警戒情報が対象とする災害



土石流

溪流地帯に堆積した土砂や岩石が水と共に一気に下流方向に押し流されたり、斜面を多量に水分を含んで土砂や岩石が流れ下る。

- 前兆現象 ・ 山鳴りがする。 ・ 急に川がにごったり、流木が流れる。
・ 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。



集中的に発生する急傾斜地の崩壊

山の斜面や自然の急傾斜のがけが崩壊することにより起こる山崩れ、がけ崩れなどの災害が多発する事がある。

- 前兆現象 ・ がけに割れ目が見える。 ・ がけから水が湧き出ている。
・ がけから小石がパラパラ落ちてくる。
・ がけから木の根が切れるなどの異様な音がある。



斜面の深層崩壊、山体の崩壊、地すべり

斜面の土壌が比較的ゆっくりすべり落ちる事による地すべりなどは、地質や地下水などが大きく影響します。

- 前兆現象 ・ 沢や井戸の水が濁る。 ・ 地面にひび割れができる。
・ 斜面から水がふき出す。 ・ 家に亀裂が入ったり樹木や電柱が傾く。

土砂災害警戒情報の発表の流れと発表例

大雨注意報発表	大雨による災害に注意を呼びかけます。
大雨警報発表	大雨による重大な災害のおそれがある場合に警戒を呼びかけます。
土砂災害警戒情報発表	土石流や集中的に発生する急傾斜地崩壊の危険度が高まった場合、市町村を特定し発表します。
土砂災害警戒情報解除	大雨が弱まり土石流や集中的に発生する急傾斜地崩壊のおそれが少なくなった場合に解除します。
大雨警報解除	大雨による重大な災害のおそれがなくなった場合。
大雨注意報解除	大雨による災害のおそれがなくなった場合。

* 土砂災害警戒情報は、「大雨警報発表中にさらに土砂災害の危険度が高まったときに発表する」大変重要な情報です。



土砂災害警戒情報が発表されると市町村や消防本部等に通知され防災活動に利用されます。避難勧告等が出されたら安全な場所に速やかに避難しましょう。

また、土砂災害警戒情報等が発表されていなくても、斜面の状況には常に注意を払い、普段と異なる状況(土砂災害の前兆現象)に気がついた場合には、直ちに周りの人と安全な場所に避難すると共に市町村役場等関係機関に連絡して下さい。

* 事前に危険箇所や避難場所、避難経路を確認しておくことも大切です。

問い合わせ先	
青森県土整備部河川砂防課	電話：017-734-9670
青森地方気象台防災業務課	電話：017-741-7413

補足事項

土砂災害警戒情報運用開始までの歩みは？

従来、大雨警報・注意報及び府県気象情報のなかで、随時土砂災害への警戒・注意を呼びかけてきました。

平成12年、いつ土砂災害が発生してもおかしくない切迫した状況であることをお知らせするため、大雨警報の切り替え運用を開始しました。

*警戒文に「過去数年間で最も土砂災害の危険が高まっています」等を記述した。



平成16年、大雨警報の切り替え時に、警戒文の冒頭に「重要変更！」のキーワードを付加した。また、度重なる深刻な豪雨災害への国の対策として、平成19年度までに土砂災害警戒情報の全国実施、避難勧告発令基準の明確化、要援護者避難情報の導入が検討されました。



平成17年9月1日、全国に先駆けて鹿児島県で土砂災害警戒情報の運用を開始しました。



平成19年5月1日現在14府県で運用中。平成19年度末までに全国運用開始が目標です。



平成19年6月1日から青森県で土砂災害警戒情報の運用を開始

土砂災害警戒情報はなぜ都道府県との共同発表なのか？

気象台の持つ降雨実況や降雨予想と、青森県のもつ災害危険箇所や過去の土砂災害情報等と連携することで、市町村が行う防災活動や避難勧告等の判断の支援、避難行動に結びつく情報の発表を目指しました。

大雨警報の切り替え運用（重要変更）はどうなるのか？

気象台は土砂災害警戒情報の発表開始に合わせ、大雨警報の切り替え（「重要変更！」、警戒文に「過去数年間で最も土砂災害の危険が高まっています」等を記述）を発展的に解消し、今後の土砂災害への警戒の呼びかけは、「大雨警報」と「土砂災害警戒情報」によることとします。

土砂災害警戒情報の伝達ルートはどのようになるのか？

